

防災委員会より



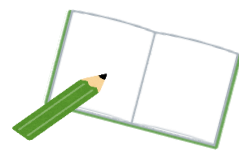
防災委員会では、今年度6回の訓練を行いました。昨年は全国的に台風による被害が多く、河川の決壊など浸水被害が多く見られました。それを踏まえ、当施設でも大型台風を想定して風水害訓練を初めて行いました。備蓄品の収納場所の確認、防災無線の使用方法、発電機の使用方法等を学び、いざという時に職員全員が使用できるように訓練を行いました。

今年度は、施設の大規模修繕の関係もあり、利用者の方と一緒に訓練を行うことができませんでしたが、来年度は利用者の方を交えて訓練を行う予定です。(記 高須)

平成31年4月 消火器・通報・マルチダウン訓練
9月 不審者対応訓練
12月 夜間想定訓練

令和元年7月 水害対策訓練
10月 施設全体地震火災訓練
令和2年2月 風水害訓練

ノーリフト委員会より



平成30年度より「抱かない・抱えない・利用者に負担をかけない」ことを重点にノーリフト委員会が設置されました。ノーリフトの取り組みを推進し、利用者・職員双方にとって安心・安全な移乗を推進しています。まずは、施設職員に「ノーリフトとは」を理解してもらう為にノーリフト委員会が中心となり、内部研修を実施しています。研修では、職員へのメリット・利用者のメリットにも触れながら、ノーリフトケアが持つ意味と必要性、そしてノーリフトケアを実現していくための実際の方法等について、講義と実技で伝えています。

今年度は、入所職員全員に研修を受けてもらう事を目標に少人数で行ってきました。ノーリフトケアの意味と必要性といった初歩的な部分を繰り返し職員へ伝えていき、職員全員が理解して、ノーリフトケアが定着できるよう、時間をかけて進めていきたいと思っています。そして、全員の力で、利用者の方と職員双方にとって安全で、心地よく、質の高い支援を提供できる施設を作っていきたいと思っています。(記 宇田川)



ノーリフトとは・・・オーストラリア看護連盟(ビクトリア州)が看護師の腰痛予防対策のために1998年頃から提言したもので、危険や苦痛の伴う、人力のみの移乗を禁止し、患者さんの自立度を考慮した福祉用具使用による移乗介護を義務付けています。これが「ノーリフティングポリシー」です。しかし、看護や介護現場で提唱していくのに「ノーリフティングポリシー」と言うのがなかったため次第に「ノーリフト」が合言葉となっていきました。

■編集後記■

来年度も充実した広報誌を発行出来るよう、日々ネタ集めに奔走します！くれぐれも体調にはお気を付けてください。(記 須賀)

※ボランティアさん募集：年齢・性別・経験は問いません。興味のある方、楽しみたい方、24時間365日募集しています。連絡先：03-5654-7731(代)



発行元：社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしあのだ 広報委員会
〒121-0813東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL：03-5654-7731 (代)
FAX：03-3859-6655

発行責任者：三瓶善衛



獅子舞がやってきました！！



2月9日(日)にきずなで特別イベント「獅子舞がやって来る」のイベントを開催しました。

竹の塚あかしの杜で、始めて獅子舞やお囃子を見る事が出来ました。

獅子舞は2階・3階を順番に周り、施設内を練り歩きながら利用者の方一人ひとりに近づき頭を噛んで厄払いをしました。また、お囃子に合わせて福の神のお面を付けた方が舞を披露し、利用者の方々へ福入りの折り鶴を下さいました。音楽が流れると、笑顔が多くみられ、音楽に合わせて手拍子や踊りの真似をして、皆さん楽しまれました。

イベントで舞と祭囃子を披露して下さった西之宮稲荷神社五反野祭囃子保存会の皆様ありがとうございました。来年度も、利用者の方と一緒に様々なイベントを開催していきたいと思っています。(記 佐々木章)



ありがとう
ございました



本誌掲載の写真・個人名の使用については個人情報に基づき、ご本人の許可をいただいております。

2019 年度も素敵な思い出がいっぱいの一年になりました！



きずなより～施設入所支援～

竹の塚あかしあのだ きずなでは、今年度もたくさんのイベントで盛り上がった1年でした。季節毎のバイキングや、外部でのイベント行事等、色々なものに参加しました。また、旅行外出などでも利用者の皆さんの笑顔が溢れる旅行になったようです。台風などの災害で、大変だった事もありましたが、利用者・職員共に力を合わせて乗り越えてきた1年でもありました。振り返るとあっという間でしたが、来年度も元気で明るく楽しい1年になるよう、きずなの皆で作りに上げていきましょう！（記 村田）

運動会



お花見



のぞみより～通所支援～

竹の塚あかしあのだ のぞみでは去年と同様、Cグループの皆さんで神社を制作しました。今年の神社は去年よりもパワーアップしており、鳥居をダンボールで立体的に作り、よりリアルさを増しました。利用者の皆さんにはダンボールを丸めてもらったり、色塗りを行っていただきました。完成した神社は元旦から1ヶ月間エントランスに飾り、皆がいつでもお参りできるように設置していました。「今年もCグループが作った神社は凄いですね！」「今から来年の神社が楽しみです。」なんて言葉も頂けて、みんなで喜びを分かち合いました。（記 伊藤）

今年も、笑い溢れる1年になりますように...

